

## 2020 年度（令和 2 年度）Pensée 授業報告

本授業は WWL コンソーシアム構築支援事業の一環として、文理融合で社会的事象に深い思考をすることを目的とした学校設定科目です。

■実施学年 6 学年（今年度は 139 名） 1 単位

■授業形式 2 クラス合同（授業場所は視聴覚室および各 HR 等）

■授業の目標・評価方法

- ① 正解のない与えられた課題に対する答えを導き出すために思考し、討論することで自己の思考力を鍛え創造力を育成する。
- ② 他者と議論し、答えを作成することで協働力、協働的想像力を育成する。
- ③ 社会に存在する課題についての理解を深める。

### 学習方法

- (1) 倫理的、哲学的な課題に対して自分自身で思考する。
- (2) 情報を収集して、より高度な答えを思考していく。
- (3) 他者と議論する。
- (4) 他者と協働して解答を導く。

### 評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと単元ごとに評価を行います。

観点① 話すこと・聞くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしている。			
観点② 書くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができている。			
観点③ 読むこと	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて様々な文章を的確に読み取っている。			
観点④ 思考し、判断すること 他者と協働的思考をする	さまざまな情報や自己の経験から、課題に対して思考し判断する。 他者との議論を通じて、課題解決を図る。			
評価の方法\観点	①	②	③	④
授業状況観察	○	○	○	○
課題などへの取り組みと提出状況		◎		◎
振り返りアンケートへの回答状況		◎		◎
最終的成果物	◎	◎	◎	◎

## ■2020 年度授業一覧

	日付	授業内容	備考
1	6/30	出生前診断	事前動画配信
2	7/7	代理母出産	
3	7/14	思考実験&思考実験を作る	
4	8/25	脳死と臓器移植	
5	9/1	安楽死と尊厳死	
6	9/8	臓器提供意思表示カード PR 動画作成①	
7	9/15	臓器提供意思表示カード PR 動画作成②	動画はアップ
8	9/22	生命倫理まとめ	小論文作成
9	9/29	環境倫理ガイダンス	
10	10/6	マイクロディベート①	
11	10/20	マイクロディベート② 米大統領選	
12	10/27	環境倫理 未来倫理 動物解放論	
13	11/10	ディベート準備作業	
14	11/17	ディベート① 原発の是非	各教室
15	11/24	ディベート② 自然主権の賛否	各教室
16	12/1	ディベート③ 工場的畜産の是非	各教室
17	12/8	環境倫理まとめ	小論文作成

今年度は新型コロナウイルスの影響によりシラバスで示した内容を変更して実施しました。

倫理課題としては「生命倫理」と「環境倫理」の2つから各テーマを設定して、テーマの把握、思考、他者の意見を知る、再思考のサイクルを授業内で実施。

生徒の活動としては、考える、書く、伝える、聞く、表現することで、思考の深化、多様な視野の獲得を図るように授業設計をしました。

\*学校休業中は生命倫理に関する事前学習課題を Classi で配信し、期限までに Classi 上に提出することを求めました。

\*第1回目の授業は学校休業中であつたため、授業動画を Classi 上に配信し、生徒はそれを視聴して、課題を Classi 上に提出。提出された生徒のコメントを授業当日に配布し、生徒はそれを読み、自分の意見を再構成する形をとりました。

(感染予防のため、生徒同士のディスカッションができなかったため)

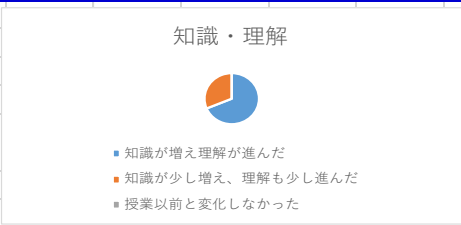
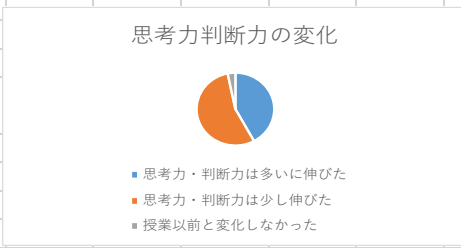
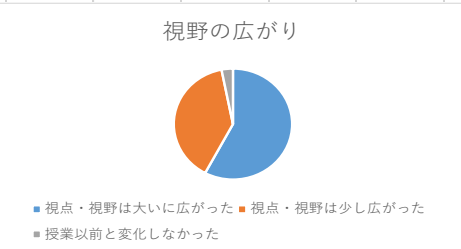

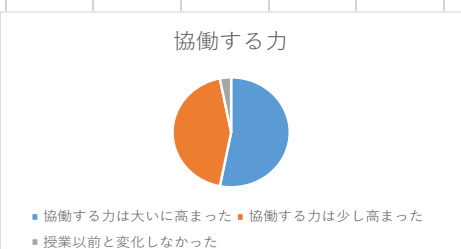
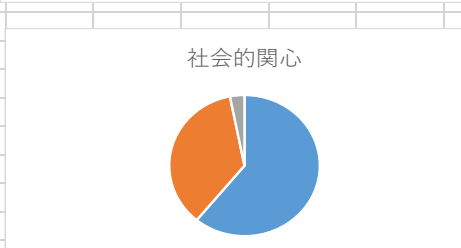
\*思考実験は既存の思考実験テーマについて、自己の考えを出した後に、ディスカッションして、自分の意見を再構成。また、新たな思考実験を考えることで思考の深化を図りました。

\*ビデオ作成は6名1グループで生徒自身の機材で撮影・編集、Classi へのアップロード

生徒は作品を視聴して、優良作品を評価しました。

\*JETによるアメリカ大統領選挙については授業の冒頭、オールイングリッシュで大統領選挙の仕組み、投票方法、投票用紙の説明および2人の候補についての良い点、悪い点をコメントしてもらった。

## ■生徒の授業評価（択一式）

Pensee 生徒による授業評価					
Q1 授業を通じて生命倫理や環境倫理等に知識は増え、理解は進んだと思いますか。				単位%	<p>知識・理解</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知識が増え理解が進んだ</li> <li>■ 知識が少し増え、理解も少し進んだ</li> <li>■ 授業以前と変化しなかった</li> </ul>
クラス	知識が増え理解が進んだ	知識が少し増え、理解も少し進んだ	授業以前と変化しなかった		
A B組	68.8	31.3	0		
C D組	57.1	39.7	3.2		
Q2 授業を通じてあなたの思考力や判断力は能力が伸びたと思いますか。				単位%	<p>思考力判断力の変化</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 思考力・判断力が多いに伸びた</li> <li>■ 思考力・判断力は少し伸びた</li> <li>■ 授業以前と変化しなかった</li> </ul>
クラス	思考力・判断力が多いに伸びた	思考力・判断力は少し伸びた	授業以前と変化しなかった		
A B組	40.8	53.1	3.1		
C D組	47.6	47.6	4.8		
Q3 授業でのディスカッション等を通じて、あなたの思考力や判断力における視野は視点は広がりましたか。				単位%	<p>視野の広がり</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 視点・視野は大いに広がった</li> <li>■ 視点・視野は少し広がった</li> <li>■ 授業以前と変化しなかった</li> </ul>
クラス	視点・視野は大いに広がった	視点・視野は少し広がった	授業以前と変化しなかった		
A B組	57.8	39.1	3.1		
C D組	50.8	46	3.2		
Q4 授業を通じて他者にあなたの意見を伝える表現力は高まりましたか。				単位%	<p>表現力</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 表現力は大いに高まった</li> <li>■ 表現力は少し高まった</li> <li>■ 授業以前と変化しなかった</li> </ul>
クラス	表現力は大いに高まった	表現力は少し高まった	授業以前と変化しなかった		
A B組	42.2	56.3	1.6		
C D組	36.5	54	9.5		
Q5 授業を通じて他者との協働力は高まりましたか。				単位%	<p>協働する力</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 協働する力は大いに高まった</li> <li>■ 協働する力は少し高まった</li> <li>■ 授業以前と変化しなかった</li> </ul>
クラス	協働する力は大いに高まった	協働する力は少し高まった	授業以前と変化しなかった		
A B組	53.1	43.8	3.1		
C D組	50.8	41.3	7.9		
Q6 授業を通じて社会や社会的・倫理的課題への関心は高まりましたか。				単位%	<p>社会的関心</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大いに高まった</li> <li>■ 少し高まった</li> <li>■ 授業以前と変化しなかった</li> </ul>
クラス	大いに高まった	少し高まった	授業以前と変化しなかった		
A B組	60.9	35.9	3.1		
C D組	55.6	41.3	3.2		
Q7 Penseeの授業で一番関心を持ったテーマを1つ選んでください。					
	A B 組	C D 組			
出生前診断	15.6	11.1			
代理母出産	3.1	4.8			
脳死と臓器移植	10.9	9.5			
安楽死と尊厳死	17.2	33.3			
思考実験	18.8	25.4			
寛容倫理全般	10.9	3.2			
原発の是非	3.1	3.2			
自然物の主権	7.8	3.2			
工場の畜産	12.5	6.3			
Q8 授業方法であなたが最も積極的に取り組めたものを1つ選んでください。					
	A B 組	C D 組			
ディスカッション	28.1	46			
マイクロディベート	9.4	7.9			
ディベート	23.4	20.6			
記述・論述	25	14.3			
ビデオ作成	14	9.5			
その他	0	1.6			
Q9 授業形式で望ましいものを1つ選んでください。					
	A B 組	C D 組			
1クラス単位	51.6	69.8			
2クラス合同	42.2	28.6			
4クラス合同	6.3	1.6			

## ■授業評価（択一式）の分析

今回の授業アンケートでは、学力の3要素「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「他者と協働して学ぶ力」と社会的問題への関心、授業そのものへの評価を択一式では調査しました。

### ① 知識理解

この授業では講義はほとんどせずに、事前学習課題と各授業でのガイダンスが知識を得る構成であった。AB組では100%、CD組では96.8%の生徒が生命倫理・環境倫理への知識が増え、理解が進んだと回答している。これは授業を契機に生徒が自主的に調査したり、他者とのコミュニケーションにより獲得したものと考えられる。自主的な学びを促す授業の目的は達成できたと考えられる。

### ② 思考力・判断力・表現力

AB組では93.9%、CD組では95.2%の生徒が授業以前よりも思考力・判断力が伸びたと回答している。本校生徒はこれまでの教育活動で、思考力や判断力は高めてきたと考えられるが、このような高い回答になった要因は次のように考えられる。設問3ではディスカッション等他者とのコミュニケーションによって視野が広がったという回答がAB組で96.9%、CD組で96.8%となり、他者との意見交換が思考を深化させた。本授業の最大の狙いは他者とのコミュニケーションにより自己の思考を深めることにあったので、良好な評価を得られた。

表現力に関しては、本校生徒はすでに他者へのプレゼンテーション能力は身に付けていると思われる。AB組で98.5%、CD組で90.5%が高まったと回答している。これまであまり考えたことのない課題を他者に伝える難しさを経験したことで、表現力は向上したと回答したのではないかと考えられる。

### ③ 他者との協働力

AB組で96.9%、CD組で92.1%が高まったと回答している。設問8で生徒が積極的に取り組めた授業方法として、マイクロディベート・ディベート・ビデオ作成という他者と協働力を必要とする項目の回答がAB組で46.8%、CD組で38%となっている。自己の思考を深めるだけでなく、授業方法の工夫により他者と協働することで生徒同士の思考を高めることができたと考えられる。特にディベートは、テーマも難しく他者との協力・役割分担が不可欠であったことで効果が高かった。(AB組で23.4% CD組で20.6%)

### ④ 社会的問題への関心

授業を通じて、社会的・倫理的問題への関心の高まりは、AB組で96.8%、CD組で96.9%となっている。生命倫理、環境倫理について、生徒が日常的にあまり考えないテーマ、これまで深く考えたことのないテーマを生徒に提示したことが、様々な問題への関心を高めたと考えられる。また、知識注入型の授業でなかったことにより関連事項について自ら調べるといった行動が多くなったことが影響していると考えられる。

### ⑤ 関心の高いテーマ

AB・CD組ともに、出生前診断、安楽死と尊厳死、思考実験が関心の高いテーマとなった。出生前診断は臨時休業中の動画配信で課題に向き合ったことで関心が高かったと考えられる。安楽死と尊厳死については、ニュース等でも取り上げられるテーマでもあり、新型コロナ感染症で連日の報道で死が話題になったことが影響したと考えられる。思考実験は現実ではありえない究極場面を考えることで、自分の価値観・人生観・社会観が問われたことに要因があると考えられる。また、他者との見解が明確であったことも関心を高めたと思われる。

### ⑥ 授業形式・授業方法

積極的に取り組めた授業方法ではAB組、CD組ともディスカッションが最も多かった。本来この授業の形式はディスカッションを主体と考えていたが、新型コロナ感染症の問題から実施が難しい面があった。しかし、生徒にとって他者と直接意見のやりとりすることが、生徒の意欲を高めると考えられる。次に評価がたかったディベートも評価が高かった。これも他者と直接やりとりする中で、学びを深めるといった点に効果があったと考えられる。次年度もディスカッションをメインに、1つのテーマのまとまりごとにディベートする形式を設定していきたい。

授業形式では1クラスという意見が多かった。これは視聴覚室では提示資料が見にくいこと、仲がよいもの同士で固まってしまったという意見が多く見られた。また、2教室に分かれた授業では教員の目が届かない、Zoomの活用に慣れないということもあった。

AB組では42.2%生徒が2クラス合同を望んでおり、クラスを超えた授業形式も一定程度効果があったと考えられる。

## ■生徒アンケート（記述式）

## ① +の意見

- ・出生前診断の授業は、特に深く考えさせられた。ビデオで実際の人の考えを聞いたのが大きいと思う。また、自粛期間中にビデオを見たので、家族と話し合う時間があつたのもよかった。
- ・ただ資料を読んで感想を書くというような道德の延長線上の授業ではなく、ディベートやビデオ作成、思考実験など、様々な形で自分で学習できたのがとても良かった。
- ・倫理的な課題を真剣に考える機会はありませんでしたので良かったと思った。
- ・六年になるまで本格的に公民をやつたことがなかつたので楽しかつた。もっと前からやりたかつた。
- ・ディベートを行つたことが一番印象に残っている。最初に行う班だつたので、データなどを集める時間が少なく大変だつたが伝えたかつたことは言えたと思うので良かった。
- ・回りの人とディスカッションして物事の理解が深まつた。
- ・医療系に進みたい身として、生命倫理はかなり印象深かつた
- ・社会に対する関心が高まつた
- ・どのテーマも関心を持てるもので深く考えるのが楽しかつた。
- ・現代にある問題について考えることができたので自分のためになつたと思う。ディベートや動画作成など、グループの人と考えるのは視野が広がつて楽しかつた。
- ・解決しにくい問題について考察するのは難しくもあり面白くもあつた。
- ・普段自分の意見をあまり言わない人が多い中、意外と色々な意見を考へていることがわかつた。
- ・ディベートを通して自分の記述力が上がった気がしたし、質疑反論と最終立論の際にいかに相手を言い負かせることが出来るかを考えることが出来たので有意義な時間となつた
- ・他人と環境問題や世界における問題など意見を交換する機会があまりなかつたので、授業を通して問題と向き合つて自分の意見を確立して、友達と話し合つて自分の視野を広げられたのがいい経験になつた。
- ・他のどの授業よりも倫理などの点から思考力が鍛えられたと思う。
- ・倫理について授業で深く考える機会が少なかつたので、Penseeの授業で考えを深められて良かった。
- ・動画作成が楽しかつた
- ・Penséesの授業を通して思考力が伸び色々なことに関して考えることが出来たのでとてもいい授業でした。また最新のニュースなどについても理解を深めることができたので良かったです。
- ・物事を多角的に見ることができた。
- ・僕はこの授業を通して人と繋がることの大切さとPenseeという授業の本質を掴めた。
- ・YESかNOかで答えられない問題を解いたこと
- ・日頃耳にはしていても目を背けがちな問題について授業を通してよく考えることが出来た。ニュースや新聞の記事に目を向けると自分の知らないところで色々な問題が起つていることがわかつた。
- ・安楽死や尊厳死や脳死の考へ方が難かつた

・ディベートが楽しかったです。 普段考えもしないテーマについて調べて立論をすることで、知らなかったことを沢山知れました。

・受験に使える力が身についたと思う

・普段は見ても見ぬふりをしているような難しい問題に取り組むことで自分なりの解釈をすることができ、自分のひとつひとつの行動を改めようという気持ちになった。 また、解決策をだし、実行に移すことが難しい問題がこんなに沢山あるのだと知り、驚いた。

・同じことでも人によって考え方が異なり色々な視点から物事を考える力がついたと思う。特に思考実験は様々な考えがありとても面白かった。

・普段はあまり深くまで考えないようなことを、ディベートや意見記述を通して考えるきっかけとなった。

・最初は「倫理的な問題」と一言で言われてもどんな問題かよくわからなかったが、パンセの授業を通して倫理的な問題とはどのような問題なのか知ることができた。倫理的問題に対する自分の意見を見直すきっかけにもなったと思う。

・人の死について考えることなど、重い内容のものが多かったが、人生の中で学んでおかなければならないことだったので良かったです。

・友達との会話に今までは出てこなかったような安楽死などの話がでてきたり、それについて授業外でも話せたりできて、友達の考えと自分の考えが案外違うということに気づけたのが面白かった。

・生命倫理分野は今後自分の進路にも関わってくるもので、すごい視野が広がって多様な考え方ができるようになったと思う。

・世界史には出てこないような世界の情勢を知ることができて面白かった。

・レベルの高いディベートができた。 出産の話や臓器移植の話は重い内容で考えさせられるものがあつた。

・倫理の問題をあまり考えたことがなかったため、とても良い機会だった。ビデオだったり、ディベートだったり他の班の活動内容も見るといろいろな考えた方があって面白かった。

## ② 改善点 ーの意見

・全体で自分たちの考えた意見を発表する場がもっとあっても良いと思う。

・思想とか宗教とか、もっといろんな範囲を取り扱ってほしかった。

・ディベートの準備時間が欲しかった。

・大きい教室で2クラス合同だったのでどうしてもスライドが見えない時があつた

・作文は正直しんどかつたです

・先生がふたつのクラスを行き来しているよりも普通の現社のように1クラスずつの方が良かったと思う。内容は私にとっては興味深いものが多く良い1年だった。

・もう少しみんなと話し合う時間が取ればいかなと思います。

・ディベートを行うのであれば、準備が必要だし、期末テストや共通テストまでの日も短いので、もっと早期の段階で行うべきだと思う。

・せっかく他クラスと合同でやる授業なので普段全く話さないような人ともディスカッションすべきだと思う。(くじ引きなどで無作為に席を決める等)

・2クラス合同で視聴覚でやると、映像が見れなかったり結局好きな人同士で固まってしまうので、クラス内の班やる方が色んな人と関われると思った。

・二学期後半にディベートなど準備に時間がかかるものは受験勉強の妨げになるので、別の時期だといっています。小論文や面接がない人も多いので、受験直前は勉強に集中したいです。

・来年からは廃止した方が生徒のためになると思います。自分はこの授業において何も成長したという実感を得られませんでした。正直に言ってしまえばストレスでしかありませんでした。学校側も様々な思慮の上 pansee という科目を週に1単位入れたのでしょうが、受験生にとっては、ケージに入れられ搾取される家畜の行く末を案じるよりも、英単語を1つでも多く覚えることの方が大切なことなのです。確かに倫理について学ぶことは教育において大切なことだと思います。前期生、はては後期においても4、5年生であるならば pansee の授業は諸生徒にとってプラスになることは間違い無いでしょう。ですがやはり、私は受験期において pansee を履修する意味が理解できません。どうか、進学校を自称する本校がこれ以上受験生の50分を奪わないことを願います。

・他クラスとは結局ディスカッション等で組まなかったし、組んだとしても普段よく話す人の方が話し合いが活発になると思うので1クラスずつで良いと思う。かといって教室に分かれて授業を受けた際は指示が通りづらかったり生徒だけで締めりがなかったりと普段より授業が充実していなかった印象があるので、可能ならば時間割をずらして先生に週4回授業を行っていただいた方が良い。

・ビデオ作成よりディベートの方が考えが深まると思った。

・前のスライドが見づらい時もあったので、スライドがスマホでも見れるようになれば良いなと思いました。

・授業をクラス単位のみにしてほしい。

・ディベートのテーマがちょっと難しかったです。

## ■生徒の授業評価(記述式)分析

### ① 感想

択一式のアンケートにも見られたが一つのテーマについて考えることができたこと、日常的に考えない問題について考えることができたこと、他者の意見を知ることについて評価する声が多かった。

テーマの設定や他者とのコミュニケーションをする授業方法は授業の狙いを達成する上で効果があったと考えられる。

### ② 改善点

- ・1クラスでの授業を希望する生徒が多い。
- ・PowerPoint 等資料の改善の意見
- ・全体での意見共有の時間の必要性、ディベートでの準備時間の確保を求める意見が多かった。
- ・倫理に関する学習する時間の確保を求める意見があった。
- ・ディベートが2学期期末になったことで、受験学習への影響があった意見が多い。
- ・Pensee の授業そのものへの疑問、受験生にとっては無用という意見があった。